

学校だより 高遠の子

伊那市立
高遠中学校
2022/11/11
No.11

10/28「ゴミ拾い登校」 ～生徒会清掃委員会～

今年度生徒会清掃委員会の新規企画「ゴミ拾い登校」を行いました。毎月月末に実施の計画ですが、これまで諸行事とのかねあいから延期となっていました。記念すべき第1回に向けて、委員会からの呼びかけや事前のゴミ袋準備など行ってきました。的場地区のご理解をいただき、収集したゴミは的場のゴミ集積所に出すことができるようになりました。これからも継続的にを行い、「自分たちの手で高遠を美しく」が実現できることを願っています。

5. 1kg



高遠中学校PTA「令和4年度『日P』（全国）表彰」！

過日、長野県PTA連合会から連絡をいただき、日本PTA全国協議会において令和4年度の年次表彰として高遠中学校PTAが「日P表彰」をいただくこととなりました。年次表彰はPTA活動の資質向上及び活性化のため、法人の目的に沿って全国のPTA活動で顕著な業績をあげたPTA、その他の団体及び個人の方の表彰をおこなうものとのことです。

昨年度まで県の研究指定校として様々に取り組んできたこと、観桜期活動や「親子ふれあい講座」の企画、PTA通信では2年連続で県の優良賞、3年度は全国奨励賞を受賞したことなどが受賞理由と思われます。11月18日の授賞式には代表して浦野PTA会長さんに出席をお願いしました。

これからも無理せず、楽しくPTA活動をすすめていただきたいと思います。保護者・PTAの皆さん、おめでとうございます。

高遠中学校PTA文化講演会 「共に生きる」入安ムニレさん

伊那市教育委員会との
共催事業（本年度会場校）

人権強調旬間～「共生」を考える～

【保護者の感想】

- 偏見のない世の中になればいいなと講演を聞き、思いました。見た目で判断する・・・お互いの気持ち分かり合えたら勝手な判断をしないのではと。いいお話がきけたと思います。
- 本日は遠くからお越しいただきありがとうございます。ご自身が生活していく中での身近な事柄を用いての講演会、あるある！なるほど！そう感じるのか！と思いながら話を聞かせていただきました。人権というと堅苦しくて難しいと思ってしまうのですが、どんな人も「共に生きる」という考え方をすれば身近なことにも全て当てはまると考えさせられました。いろいろな人とのつきあいで生活するということは続いていくので自分のまわりの人たちと「共に生きる」の精神でおつきあいしていきたいと思えます。
- 担当の先生方、役員の皆様、大変お疲れ様でした。数々のエピソードからダイレクトに分かりやすくお話してくださったと思います。若い年頃特有の立ち入ったことは聞きにくかったり、口に出したら失礼なのでは…という気後れや遠慮とネットなどからの情報からの先入観、そして田舎特有の保守的な感覚…いろいろと分かるところがありました。そんな中で高遠中学校では観桜期に全国津々浦々から来られる観光客の皆様におもてなしの気持ちで活動できたことが、この先、様々な人との理解しあい受け入れ合っていくことにも通じていくのではないかと改めて良い体験に感謝したいと思います。「共に生きる」の講演ありがとうございました。

「ただ人間がいる。それだけです。」は、肌の色とか、背の高さとか、能力が違ってても、自分と同じ人間であることに変わりはないということだと思いました。生まれた地域や親の肌の色で差別されるのは、その人自身にも周りの人にも責任はないからくだらないことだと思えます。肌の色などに関係なく「人間」として人を見るということをお願いしたいです。

（1 学年生徒

*11/2 校長講話を受けて）

10月24日、授業参観、学年PTA、PTA講演会へのご参加ありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で十分な公開ができないことにお許しをいただき、またお気づきのことがございましたら学級担任を通じてお教えください。

「らしさ」「持ち味」

～11/2 校長講話～

みなさん、こんにちは。今日の校長講話も、新型コロナウイルス感染症感染防止のために、ZOOMにて行います。パワーポイントでお話をしていきます。なお、私の話はあまり長くありません。宿題を出しますので、残った時間で学級、グループで話し合いの時間にしてください。

今、高遠中学校は人権強調旬間の期間中です。人権については、常に考えるべきことですが、イベントを通して、意識を高めていくために強調旬間を設けていると考えてください。今日の話もつながっています。10月24日に「入安ムニレさん」をお招きして講演を聞きました。皆さんはどのようにムニレさんの話を聞き、何を考えたでしょうか。

講演を聞いた生徒さんの感想をたくさん紹介したいのですが、時間も限られています。一つ紹介しますので、目で追って読んでください。入安さんは、「どこの

入安さんのお話を聞いて、外国人だけに聞かず、知らない人と会った時に、その人の容姿などを見て先入観を持たないようにすることが大切だと思った。私も初対面の人がどんな人なのかを自分の中で考えてしまうことがあるので、そういった考え方をするのではなく、質問をしたりして、その人のことを知ろうとしたい。

国ですか」と聞いてほしい。そして、忘れないでほしいと話してくれました。ここにあるように、「その人のことを知ろうとしたい」。関心を寄せ、思いをもって接していくことの大切さを教えてくれています。人とのかわりを作る上で、とても大切なことを教えていただきました。

これは、堀米先生のお許しをいただき、3年1組学級通信で、講演を聞いた堀米先生の言葉です。お読みください。この「ただ人間がいる。それだけです」と

中国新疆ウイグル自治区出身の入安ムニレさんの講演会を聴いて、「ルロイ修道士」を思い出しました。「日本人とかアメリカ人とかカナダ人などといったものはありません。ただ人間がいる。それだけです。」と言っていたあの言葉が、話の中ではなく、現実の言葉として聞こえてきたようでした。考えさせられました。

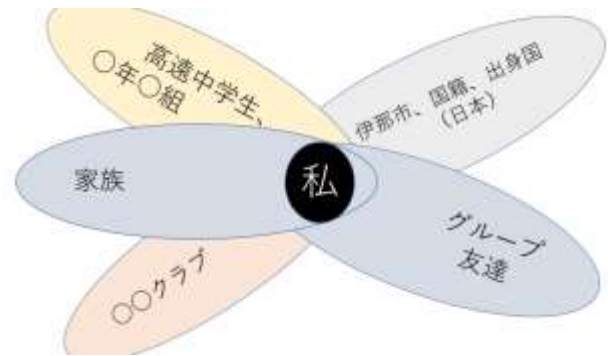
(ルロイ修道士：村上ひさし著『蘭学』の登場人物)

は、どういうことを言っているのか、考えたいと思

ます。

私たちは、何らかの集団の中に位置づいています。例えば、高遠中学校の生徒、学級の一員。家族の一人。あるいは、仲良し友達の中の一人。広く、伊那市の市民であったり、日本人として生活しています。これが社会とのつながりと言えます。集団の一員としての役割を果たすことで所属感であったり、自分が役に立っているという満足感や自己有用感を得たりします。

逆に、そのグループから外されることの怖さも知っています。いわゆる「仲間はずし」と言われるものです。いじめや差別は、集団やグループの中で起きているのです。



では、「私」とは何でしょう。3年生の美術で「自分らしさ」をテーマに制作をしています。作品を通して自分を見つめていることと思います。先日、「自分らしさ」につながる言葉を教わりましたので、紹介します。

それは、「持ち味」という言葉です。自分に備わっているもの、考え方や行動、特技や心根など、他の誰とも異なる自分だけのものです。この持ち味、自分らしさが集団の中で働くことによって、充実した生活が生まれるのだと思います。今、集団に働きかけると言いましたが、発言したり、リードすることだけが働きかけではありません。人知れず教室のゴミを拾う行動もすばらしい持ち味ですし、仲間を大切に思いやる心もとても大切な持ち味です。自分を大切に、自分を見つめていくことで、自分の持ち味、自分らしさが見えてくるのではと思います。それを大切にしてほしいと願っています。

では、ルロイ修道士の言葉「ただ人間がいる。それだけです」とは、何を意味しているのか。ここから先は、皆さんが考えてください。その考えが行動につながってきます。これからの皆さんの姿に学びたいと思います。

以上で話を終わりにします。

【保護者様】 過日の給食センターにかかるお弁当持参につきまして、ご対応くださり誠にありがとうございました。 (校長)

伊澤修二記念音楽祭
10/29

高遠町文化体育館にて、高遠小学校・高遠北小学校の児童の皆さん、保護者・地域の皆様の前で、3学年合唱「夕陽」と全校合唱「仰望」を披露しました。聖桜祭の時も感動しましたが、大勢の皆さんの前ですばらしい歌声を披露する生徒の姿に再び感動いたしました。



伊澤修二記念音楽祭がありました。私が特に印象に残ったのは、オーケストラの「新世界より」です。何回かきいたことはあったけど、生で聞くとやっぱり迫力が違うなと思いました。オーケストラやオーボエカルテットなどのうまい人たちの演奏はきける機会があまりないので、とてもいい経験ができたと思いました。

(1学年生徒)

今日は伊澤修二記念音楽祭がありました。僕たちは仰望を歌い、他の学校は合奏や合唱、劇などをしました。どの学校もすごい上手で、北小はあの人数で長時間劇をされていてすごいと思いました。午後は少し眠くなったりしたけど、芸大の人たちの演奏が聞けてよかったですし、とても迫力があってすごかったです。

(1学年生徒)

「高遠太鼓」10/25

3学年の総合で高嶋さんから「高遠太鼓」を習いました。

